

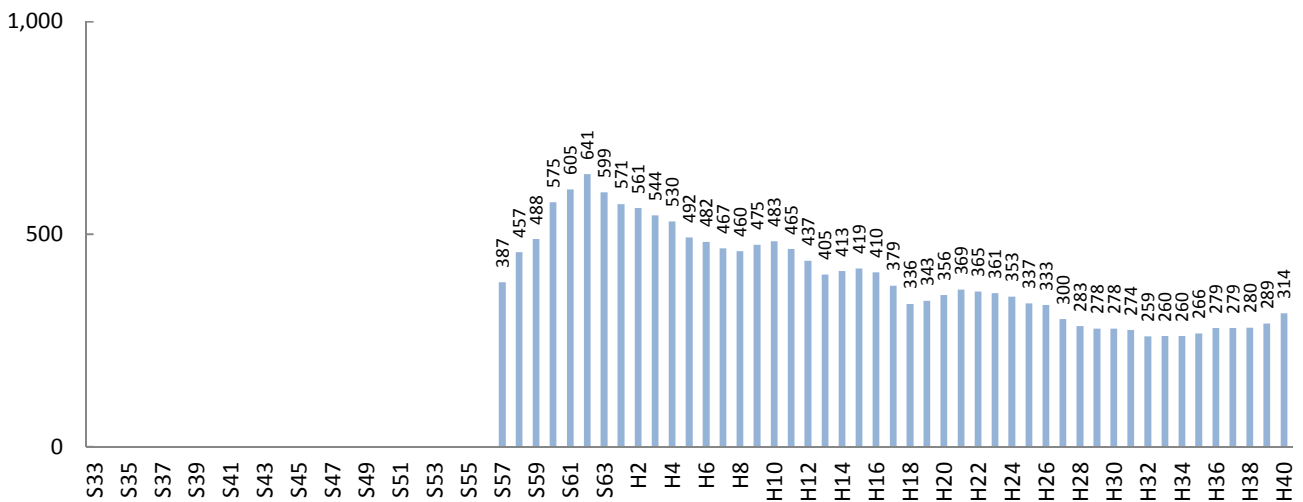
2

生徒数と学級数の推移

※生徒数・学級数は、1958年(昭和33年)以降を対象としており、「ピーク時」といった場合も1958年(昭和33年)以降をさしています。
 ※将来の生徒数・学級数は、現在当該学区に住んでいる児童・生徒がそのまま進学・通学するものとして推計しています。
 ※転入や転出が多い地域では、推計値と実際の生徒数の差が大きくなる場合があります。

1. 生徒数の推移

1982年(昭和57年)の開校から増加しましたが、1987年(昭和62年)のピークの後には減少傾向にあります。今後は300人前後の横ばいで推移するものと見込まれます。



2. 生徒数の比較

	ピーク (見込含)	今年 2016年(H28)	6年後 2022年(H34)	12年後 2028年(H40)
北稜中	641 (S62)	283	260	314
市全体	13,841 (S37)	6,546	5,564	5,314

3. 通常学級数の比較

	ピーク (見込含)	今年 2016年(H28)	6年後 2022年(H34)	12年後 2028年(H40)
北稜中	17 (S62)	9	9	10
市全体の平均	16.9 (337÷20校) (S63)	8.6 (206÷24校)	7.5 (179÷24校)	7.3 (174÷24校)

※生徒数、学級数の「ピーク時」は、複数ある場合、年次で早い方を表示しています。
 ※学級数の将来推計は、2016年(平成28年)の学級編制基準に基づいています。

3

町内ごとの生徒数と今後の見込み

※ここで示す生徒数は、住民基本台帳上、当該学区内に住む該当年齢の生徒数であり、実際に通学する生徒数とは異なります。

